



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所 東・大
 コード番号 6742 URL http://www.kyosan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森岡 伸一郎 (TEL) 045-503-8106
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,753	△22.0	△1,481	—	△1,471	—	△986	—
23年3月期第2四半期	24,037	△12.3	△848	—	△526	—	△616	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,136百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △1,168百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第2四半期	円 銭 △15.72	円 銭 —
23年3月期第2四半期	円 銭 △9.83	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第2四半期	百万円 65,818	百万円 31,317	% 47.6
23年3月期	百万円 71,832	百万円 32,767	% 45.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 31,317百万円 23年3月期 32,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
24年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
24年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	△6.3	3,900	4.0	3,900	△3.9	2,100	55.5	33.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	62,844,251株	23年3月期	62,844,251株
24年3月期2Q	85,148株	23年3月期	84,192株
24年3月期2Q	62,759,412株	23年3月期2Q	62,696,018株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で被害のあったサプライチェーンの混乱はほぼ収束したものの、電力供給の制約や原発事故の影響に加え、海外景気の下振れ懸念や歴史的な高水準の円高など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、このような事業環境のなかで、今期最終年度となる中期経営計画の達成に向けて、より一層の生産効率改善とコスト低減に向けた取り組みを加速しておりますが、信号システム事業における売上の例年以上の下期集中や電気機器事業における事業環境の急激な悪化の影響を受けました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高35,834百万円（対前年同期2,763百万円増）、売上高18,753百万円（対前年同期5,283百万円減）、営業利益 △1,481百万円（対前年同期632百万円減）、経常利益 △1,471百万円（対前年同期945百万円減）、四半期純利益 △986百万円（対前年同期370百万円減）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

[信号システム事業]

鉄道信号システムでは、JR各社向け新ATC装置や民鉄各社向け新ATS装置、台湾鉄道管理局向け富岡車両基地信号設備を受注するなど、受注は前年同期を上回り堅調に推移いたしました。一方、売上は例年下期に集中するものの、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱に加え、鉄道事業者の設備投資計画の繰延べや納期調整等もあって、例年以上に下期に集中する傾向が顕著となり、前年同期を下回る状況で推移いたしました。

この結果、受注高30,908百万円、売上高14,242百万円となりました。

[電気機器事業]

半導体応用機器では、半導体製造装置用や液晶パネル製造装置用など、主力の「産業機器用電源装置」が国内外の半導体および液晶パネル市場の急速な設備投資の抑制により低調に推移し、太陽光パネル製造装置用も市場の伸びが見られないなど、受注、売上ともに前年同期を下回る状況で推移いたしました。

この結果、受注高4,925百万円、売上高4,511百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債および純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6,014百万円減少し65,818百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は、たな卸資産が9,733百万円増加し、受取手形及び売掛金が16,026百万円減少しました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が301百万円、未払法人税等が1,516百万円減少しました。

純資産の部は、利益剰余金が1,300百万円減少しました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ288百万円減少し2,776百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,659百万円のプラスとなりました。これは、たな卸資産が9,768百万円増加したものの、売上債権が16,017百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、815百万円のマイナスとなりました。これは有形固定資産の取得により716百万円支出したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,130百万円のマイナスとなりました。これは短期借入金が1,210百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に公表しました業績予想を修正しております。

当該予想の修正につきましては、本日公表の「平成24年3月期第2四半期の業績予想と実績との差異および通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,132	2,828
受取手形及び売掛金	28,753	12,727
製品	3,063	3,796
半製品	2,083	2,722
仕掛品	9,916	18,304
原材料及び貯蔵品	267	241
繰延税金資産	1,566	2,181
その他	111	495
貸倒引当金	△25	△27
流動資産合計	48,871	43,270
固定資産		
有形固定資産	11,141	10,918
無形固定資産	829	753
投資その他の資産		
投資有価証券	8,222	8,016
繰延税金資産	1,502	1,567
その他	1,295	1,323
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	10,990	10,876
固定資産合計	22,961	22,547
資産合計	71,832	65,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,315	14,013
短期借入金	1,300	90
1年内返済予定の長期借入金	1,122	5,029
未払法人税等	1,618	102
役員賞与引当金	131	45
受注損失引当金	184	178
環境対策引当金	326	326
その他	6,416	5,517
流動負債合計	25,415	25,302
固定負債		
長期借入金	8,477	4,014
長期末払金	804	762
退職給付引当金	3,884	3,940
資産除去債務	117	118
その他	364	363
固定負債合計	13,649	9,198
負債合計	39,065	34,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	21,250	19,949
自己株式	△27	△28
株主資本合計	32,118	30,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	778	655
為替換算調整勘定	△128	△155
その他の包括利益累計額合計	649	499
純資産合計	32,767	31,317
負債純資産合計	71,832	65,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	24,037	18,753
売上原価	20,451	16,009
売上総利益	3,586	2,744
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,157	1,140
賞与	378	389
役員賞与引当金繰入額	35	45
退職給付費用	128	140
減価償却費	65	80
荷造及び発送費	393	393
貸倒引当金繰入額	11	2
その他	2,265	2,033
販売費及び一般管理費合計	4,434	4,225
営業損失(△)	△848	△1,481
営業外収益		
受取配当金	77	83
受取保険金	210	39
受取補償金	129	1
その他	43	34
営業外収益合計	461	157
営業外費用		
支払利息	97	74
資金調達費用	32	36
為替差損	3	31
その他	6	5
営業外費用合計	139	148
経常損失(△)	△526	△1,471
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	—
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
固定資産除売却損	168	12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	104	—
投資有価証券評価損	4	2
その他	1	—
特別損失合計	277	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△797	△1,486
法人税等	△180	△499
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△616	△986
四半期純損失(△)	△616	△986

四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△616	△986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△531	△122
為替換算調整勘定	△21	△26
その他の包括利益合計	△552	△149
四半期包括利益	△1,168	△1,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,168	△1,136
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△797	△1,486
減価償却費	657	828
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△54	55
受取利息及び受取配当金	△77	△83
支払利息	97	74
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	104	—
売上債権の増減額(△は増加)	9,580	16,017
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,391	△9,768
仕入債務の増減額(△は減少)	27	△270
その他	△1,059	△1,061
小計	4,092	4,307
利息及び配当金の受取額	77	83
利息の支払額	△95	△78
法人税等の支払額	△930	△1,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,144	2,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△5
定期預金の払戻による収入	19	13
投資有価証券の取得による支出	△9	△10
有形固定資産の取得による支出	△1,566	△716
無形固定資産の取得による支出	△55	△51
その他	14	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,614	△815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,628	△1,210
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△242	△557
配当金の支払額	△313	△313
その他	△29	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△713	△2,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	811	△288
現金及び現金同等物の期首残高	3,022	3,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,834	2,776

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	18,613	5,424	24,037	—	24,037
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	639	639	△639	—
計	18,613	6,063	24,677	△639	24,037
セグメント利益 または損失(△)	37	604	641	△1,490	△848

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,490百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	3,332	554	3,886
II 連結売上高(百万円)	—	—	24,037
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.9%	2.3%	16.2%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1)アジア・・・・・・中国、韓国、台湾等

(2)その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	14,242	4,511	18,753	—	18,753
セグメント間の内部 売上高または振替高	1	478	479	△479	—
計	14,243	4,989	19,233	△479	18,753
セグメント利益 または損失(△)	△439	364	△74	△1,406	△1,481

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,406百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	2,444	203	2,648
II 連結売上高(百万円)	—	—	18,753
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.0%	1.1%	14.1%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1)アジア・・・・・・・・中国、台湾、シンガポール等

(2)その他・・・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。